

安全・安心を守る防災拠点

消防防災センター始動



上空から撮影した登米市消防防災センター

さまざまな機能を備えた施設です



【2階事務室】
消防総務課・予防課・警防課が配置される消防本部事務室。



【車庫】
隊員の緊急出動時における機動性を重視し、車庫は市道側に面した設計としています。



【地震体験装置】
宮城県沖地震、阪神・淡路大震災の地震体験ができます。



【指令システム】
119番の受け付けから災害場所の特定、支援情報提供など初動体制の迅速化により、災害被害を軽減します。



【訓練棟】
救出救助訓練・消防訓練などが行える施設で、より実践的・効果的な訓練ができます。



【障害者用トイレ】
ハートビル法に適合した人にやさしい施設となっています。



【臨時ヘリポート】
傷病者の緊急輸送や林野火災時における拠点基地として利用します。



【防災用品展示】
災害に備え、日ごろから準備しておく必要がある備蓄品や便利な用品を展示しています。

消防防災センターの概要

- 住所 〒987-0512 登米市迫町森字平柳25番地
- 電話番号
 - 【代表】 ☎ 0220 (22) 0119
 - 【災害時問い合わせ】 ☎ 0180 (992) 099
- 【消防本部】
 - 消防総務課 ☎ 0220 (22) 3119
 - 予防課 ☎ 0220 (22) 1900
 - 警防課 ☎ 0220 (22) 1901
 - 指令課 ☎ 0220 (22) 1902
- 【消防署】 ☎ 0220 (22) 2119
- 敷地面積 12,450㎡
- 施設規模
 - 消防庁舎兼消防防災センター R C造3階建て(免震構造) 延床面積4,120㎡
 - 訓練施設 R C造3棟 延床面積682㎡
- 総事業費 19億7,500万円 (用地取得、建物解体、設計・建築など)

市民皆さんが安全に安心して暮らせるための防災拠点となる「登米市消防防災センター」が完成し、3月17日から業務を開始しました。施設は消防本部と防災センターの機能を備えているほか、消防訓練施設や臨時ヘリポートが整備されています。また、防災体験・展示ホールなど、防災啓蒙も兼ね備えた総合防災施設となっています。

防災意識を高める体験コーナーを整備

1階は地震体験、消火体験、防災用品の展示、2階には煙(避難)体験や緊急通報体験などができる「防災体験・展示ホール」を整備しています。万が一のときに備え、防災意識、防災対応力を身に付けることができます。

また、指令センターは高機能消防指令装置を整備し、瞬時に災害現場の特定、情報の提供を行うことで、初動体制の迅速化により災害被害の縮減を進めます。



3月22・23日の庁舎見学会には、約1,500人が来場しました。

【利用問い合わせ】
登米市消防署
☎ 0220 (22) 2119

防災体験・展示ホールは、各種団体や自主防災組織の防火・防災の啓蒙活動の場として市民皆さんが利用できます。利用については無料ですが、団体利用の際には予約が必要となります。

「消防防災センター」「消防本部」「消防署」三つの機能を備える庁舎棟と、救出救助訓練、消火訓練が行える「訓練棟」が併設されているほか、臨時ヘリポートの離発着場を

北上川舟運「ひらた舟」をイメージ

この事業は、再来の切迫度が増している宮城県沖地震の大規模災害に必要となる防災拠点の重要さと、現庁舎の老朽化・狭隘化に伴い、平成17年から3カ年事業として着手したものです。

大規模災害時の防災拠点

完備するなど、多岐災害に対応した総合的な防災機能を備えた施設となっています。建物は北上川舟運のシンボル「ひらた舟」をイメージしており、庁舎棟は免震構造、訓練棟は耐震構造を採用し、大災害時にも建物補修をすることなく継続して使用できる高い安全性を有しています。また、環境・省エネ・経済性を考慮し、自然採光、自然換気、雨水の利用など自然環境にやさしい施設です。

高齢者や障害者が利用しやすい施設

利用する人へ配慮し、宮城県「一人にやさしいまちづくり